

20. 2年次の選択ローテーション科目について

選択科目は、1年目に必修科目としてローテーションした診療科のうちで、研修医本人が不十分であったと思う診療科を再度ローテーションすることにより、医師として必要な、経験すべき症候、疾病・病態に関する知識及び技術をより深く修得し、診療にかかわる基本的・専門的な診療能力・態度を身につけることを目的としている。

選択科目は、研修医が研修プログラムを選択し積極的に取り組むためにも必要な科目で、3年目以降の専門研修を見据えた分野の選択や、修了認定に必要な、経験すべき症候、疾病・病態を経験するための診療科を希望することも可能である。

選択科目の分野は、当院の内科・外科・整形外科・小児科・脳神経外科・産婦人科・麻酔科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科から研修医が自由に選択できるほか、名古屋市立大学病院と愛知医科大学病院のほとんどの診療科、及び保健・医療行政（豊川保健所、介護老人保健施設五井の里）から自由に選択できる。

選択科目の選択については、到達目標を達成できるよう指導していく。

基幹型臨床研修プログラム例

1年目	内科 24週以上		救急 12週以上 整形・麻酔・脳外	外科 4週以上	小児 4週以上	産婦人科 4週以上
2年目	地域医療 4週	精神科 4週	選択科目			